

年間授業計画

上水 高等学校 令和8年度

教科 芸術

科目 デッサン

教科： 芸術

科目： デッサン

単位数： 2 単位

使用教科書： (日本文教出版 『高校生美術2』)

教科 芸術

の目標： 芸術に関する専門教育を通して、我が国の芸術文化を支え、国内外での芸術文化活動により社会貢献できる心豊かな人間の育成を図る。

【知識及び技能】 芸術活動を通じて、専門分野の能力の向上、国際的に活躍することができる人材の育成。

【思考力、判断力、表現力等】 芸術活動を通じて、論理的思考力、課題解決能力の育成、および、創造力・表現力(専門分野)の向上。

【学びに向かう力、人間性等】 芸術活動を通じて、将来を設計する力、コミュニケーション能力の向上。

科目 デッサン

の目標： 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】					
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。		造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。			主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。					
単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ	映						
<p>(1) 『描くとは』 作品鑑賞を通じて、美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を身に付ける取り組み方について学習する。</p> <p>【知識及び技能に関する目標】 視覚に関する錯覚の効果を理解し、不思議なイメージを表現として捉える。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 鑑賞からイメージを膨らませ、構想を練る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 デッサンの魅力を理解し、創造活動に、主体的に取り組む。</p>	<p>(1) オリエンテーション『描くとは』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書・制作ノート・筆記用具 リサーチ ・端末利用 美術史のリサーチ 	○			<p>【知識及び技能】 作品鑑賞を通じて、視覚に関する視覚効果を理解し、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。意図に応じて、モチーフとの関係を考えながら創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> <p>【思考・判断・表現】 作品のイメージや主題を生成し、形体や色彩、配置、組み合わせなど、不思議な世界をつくりだす表現の効果などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい視覚世界の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4	
<p>(2) 『空想画 レポート』 『空想画をテーマに』デッサンの探究レポートを作成し、各自発表する。</p> <p>【知識及び技能に関する目標】 作家の描いた作品の鑑賞を通じて、感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫への理解や見方を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 感じ取ったことや考えたことを基に、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 空想画への想像力を膨らませ自由制作に主体的に取り組む。</p>	<p>(2) 「グラフィック探究A」美術史リサーチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書・制作ノート・筆記用具 リサーチ ・端末利用 美術史のリサーチ 	○			<p>【知識及び技能】 作品の鑑賞を通じて、空想画の特徴について深く理解し鉛筆の特性を生かし、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> <p>【思考・判断・表現】 鑑賞を通じて感じ取ったことや想像したことなどから創造的な表現の構想を練っている。特に空想画における空間法を理解し、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 美術や美術文化と豊かに関わり、鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	16	
<p>(3) 『基礎形体』 基礎形体を組み合わせてデッサンを行う。応用で、基礎形体に折り紙などを加えても良い。</p> <p>【知識及び技能に関する目標】 アイデア、視点に工夫を凝らし、自分らしい作品制作をめざす。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 基礎形体を組み合わせ、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 伝えたいイメージを込め、創造活動に主体的に取り組む。□</p>	<p>(3) 『基礎形体』をテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書・制作ノート・筆記用具・ケントボードなど ・端末利用 作品のリサーチ 	○	○	○	<p>【知識及び技能】 作品の鑑賞を通じて、基礎形体に表現方法について理解し、造形の特徴などを基に鉛筆の特性を生かし、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> <p>【思考・判断・表現】 鑑賞を通じて感じ取ったことや想像したことなどから自ら創造工夫をしながら構想を練っている。造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 美術や美術文化と豊かに関わり、鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・彫	デ	映						
二 学 期	<p>(4) 『動物』 動物をテーマにデッサンを実施。本課題では、骨格、量感、質感などを考慮する。</p> <p>【知識及び技能に関する目標】 動物の骨格などについて理解し、伝えたい情報やイメージなどを捉え、材料や用具などの特性を生かして表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 伝えたい情報や使われる場面などを基に、動物の特性を生かした表現を目指す。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 伝えたいイメージを込め、創造活動に主体的に取り組む。</p>	<p>(4) 『動物』</p> <p>・教科書・制作ノート・筆記用具・ケントボードなど</p> <p>・端末利用 作品のリサーチ</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>	○	○		○	<p>【知識及び技能】 作品の鑑賞を通じて、動物の骨格や量感、質感などについて理解し、鉛筆の特性を生かし、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> <p>【思考・判断・表現】 鑑賞を通じて感じ取ったことや想像したことなどから創造的な表現の構想を練っている。特に、動物の骨格や量感表現を主体に創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 美術や美術文化と豊かに関わり、鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>(5) 『手』 手をモチーフのデッサンを実施。手の表情に着目し、様々な角度から表現する。</p> <p>【知識及び技能に関する目標】 造形の要素の働きを理解し、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 手の描写だけでなく、目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 伝えたいイメージを込め、創造活動に主体的に取り組む。</p>	<p>(5) 『手』</p> <p>・教科書・制作ノート・筆記用具・ケントボードなど</p> <p>・端末利用 作品のリサーチ</p>	○	○		○	<p>【知識及び技能】 作品の鑑賞を通じて、手のモチーフの造形の特徴などを理解し、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> <p>【思考・判断・表現】 鑑賞を通じて感じ取ったことや想像したことなどから創造的な表現の構想を練っている。手の表情や造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 美術や美術文化と豊かに関わり、鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。</p>				10
	<p>(6) 『自画像』 自画像をテーマに自由な発想でデッサンを実施。彩色など可。</p> <p>【知識及び技能に関する目標】 作家の描いた自画像作品の鑑賞を通じて、形や色、構図や表情などの感情に与える効果や造形的な特徴を基に全体のイメージなどを捉え、材料の特性を生かして創造的に表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 自身の内にある本質などに向き合い、見つめ直し、感じ取ったことや考えたことなどを基に、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 伝えたいイメージを込め、創造活動に主体的に取り組む。</p>	<p>(6) 「自画像」</p> <p>・教科書・制作ノート・筆記用具・ケントボード・アクリル絵の具・筆記用具</p> <p>・端末利用 作品のリサーチ</p>	○	○		○	<p>【知識及び技能】 作品の鑑賞を通じて、自画像について深く理解し、造形の特徴などを基に作者の意図を理解し鉛筆の特性を生かし、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> <p>【思考・判断・表現】 鑑賞を通じて感じ取ったことや想像したことなどから創造的な表現の構想を練っている。自画像をテーマに作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 美術や美術文化と豊かに関わり、鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>(7) 『遠近法の歴史』 探究レポートを作成し、各自発表する。</p> <p>【知識及び技能に関する目標】 アイデア、視点に工夫を凝らし、自分らしい作品制作をめざす。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 東西の遠近法について理解し、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 伝えたいイメージを込め、創造活動に主体的に取り組む。</p>	<p>(7) 『遠近法の歴史』</p> <p>・教科書・制作ノート・筆記用具</p> <p>・端末利用 作品のリサーチ</p>	○			○	<p>【知識及び技能】 作品の鑑賞を通じて、遠近法について深く理解し、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> <p>【思考・判断・表現】 東西の遠近法の鑑賞を通じて、様々な国の創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 美術や美術文化と豊かに関わり、鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6

